

土浦市(茨城県):キララちゃん

NPO 運営によるまちづくり活性化バス

人口	144,060 人	モード	コミュニティ バス
面積	113.82 km ²	法令	道路運送法 第4条
人口 密度	1,265.68 人/km ²	運営 主体	まちづくり 活性化バス 土浦



■ 取組の背景

地域と交通の状況

【中心市街地衰退】

- 土浦市は、古くから城下町として栄え茨城県南を代表する商業・業務集積都市である。しかし、近年は中心市街地の衰退が著しく、集客力と居住・生活環境の向上、公共交通機関の利用増進が求められていた。

活用メニュー(制度・協議会等)

【バス利用促進総合対策事業】【市町村の補助(バス)】

【公共交通活性化総合プログラム】

- 以下のメニューを利用して、コミュニティバスの試験運行を行った。
 - 土浦市・土浦商工会議所 バス運行支援事業(平成16年度～)
 - 国土交通省 バス利用促進等総合対策事業(平成17・18年度)
 - 国土交通省 公共交通活性化総合プログラム(平成18年度)

■ 実現したサービス

サービス内容

【市街地循環バス】【ルートの工夫】

- 平成17年3月～平成19年3月までの試験運行に引き続き、平成19年4月から以下の内容で本格運行を開始した。
 - 路線：循環3路線(Aコース、Bコース、Cコース)。いずれも土浦駅発着(JR常磐線、既存バス路線等との乗り継ぎを考慮)で、中心市街地、公共施設等を循環する。各線の路線長は以下のとおり。
「市民会館循環(A)」路線長11km、「市役所循環(B)」路線長9km、「霞ヶ浦循環(C)」路線長11km
 - 停留所：3路線で約90箇所(約180基)
 - 運行時間：8:30-20:00頃
 - 便数等：A・B・Cとも35分で循環。左右周り計45便。
 - 運行車両：[A]ジャンボタクシー 1台 10人乗り。 [B・C]ノンステップ小型バス 2台 28人乗り
 - 運賃：1人1回の乗車100円(小学生50円)、1日乗車券300円(小学生150円)、障害者及び介護者と未就学児は無料
 - 運営体制：運営主体のNPO法人まちづくり活性化バス土浦と運行主体の関東鉄道および土浦市の3者協定による。
 - 地域通貨：協賛店で1,000円以上の買物をすると、当日乗車証明書と引き換えに100円分の地域通貨キララがもらえる。地域通貨とは100円相当の無料乗車券であり、「キララちゃん」の乗車1回分の通貨として使える。協賛店は、平成19年3月現在82店。

■ 効果と負担

効果

【利用者数増加】【中心市街地の活性化】

- ・ 利用状況は平成 16 年度から増加を続けている。1 日平均約 322 人(1 便平均約 8.1 人)の利用者数がある(平成 17 年 3 月～平成 19 年 3 月)。
- ・ 地域通貨キララは平成 19 年度の乗車人数のうち 13%が使用している。

負担

【市町村負担】

- ・ 本格運行後の事業費用は平成 19 年度で総額 4,200 万円であり、そのうち運賃収入が 1,320 万円、広告収入が 282 万円であった。残りの 2,600 万円弱は土浦市による補助金である。

■ プロセスと調整

NPO による運行準備

【プロセス:体制構築】

- ・ バスの試験運行が開始される 4 年前の平成 13 年 4 月から、地域の商業関係者の有志によって中心市街地活性化を推進するためのバス導入に向けた検討が開始された。
- ・ 当時は市民団体が自ら運行するバスの形態は珍しく、検討は手探りの状態で行われた。
- ・ 検討の結果、平成 16 年にバス運行や地域通貨の発行を行う主体として NPO 法人の設立申請を行うことになり、平成 16 年 7 月、「まちづくり活性化バス土浦」が設立された。

試験運行におけるアンケート実施

【プロセス:現状把握】

- ・ 試験運行期間中に本格運行に向けたアンケートが実施された。
- ・ アンケートで以下のような実態が示された(平日、休日の各 1 日を調査日とした)。
 - ① 利用者の年齢は 60 歳以上が半数近くを占める。
 - ② 利用者の居住地は土浦市内が約 8 割、市外が約 2 割。
 - ③ バスの利用目的は「買い物」が約 4 割。次いで「飲食」「通院」「業務」「駅利用」が各約 1 割。
 - ④ 利用頻度は 1 ヶ月に 5 日以上が約半数、1 ヶ月に 1 日以上が 7 割超。
 - ⑤ 乗車の感想は「良い」が 7 割、「やや良い」が 2 割。
 - ⑥ 以前の交通手段は「一般のバス」が約 5 割、「徒歩・自転車」が約 4 割、自家用車が約 2 割。
 - ⑦ 外出機会は「以前と変わらない」が約半数。「増えた」が約 4 割。60 歳以上では「増えた」が半数以上。
- ・ このように、買い物の促進による中心市街地の活性化という目的に合致しており、とくに高齢者の外出機会を増やしていることが示され、本格運行につながった。
- ・ 上記アンケートにあわせて、利用実態を把握し、本格運行に向けてルートを見直した。

■ 創意工夫・知見・教訓

明確な目的に基づく住民の主体的な運営

【知見:住民参加・主体性発揮】

- ・ キララちゃんは、商業関係者が中心となって、自ら企画、ルート選定、運営主体の設立、試験運行および本格運行の実施が行われている。
- ・ バスの運営には地域通貨への参加や寄付を通じて地域の商業事業者の協賛を得ており、またバスの車内には商店等の広告が多数掲示されている。
- ・ このように、中心市街地活性化という明確な目的により、買い物客のニーズに合致した交通手段が実現している。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：土浦市産業部商工観光課中心市街地対策室 電話 029-826-1111

参考 URL：キララちゃん <http://www.kirarabus.tsuchiura.jp>

資料編

路線系統図

バスの乗り方

- 料金は1人1回の乗車につき100円(小学生50円)です。
- 乗り換えて利用する場合は1日乗車券(300円)がお得です。
- 地域通貨「100キララ」でも1人1回乗車できます。(当日乗車証明券を持って協賛店で1回1,000円以上のお買い物をするともらえます。)

パークアンドバスライド

自家用車からバスへ乗り継ぎするお客様は、無料駐車場(下記のマーク)をご利用ください。ただし、時間・曜日等は各駐車場の規則内のご利用に限りです。

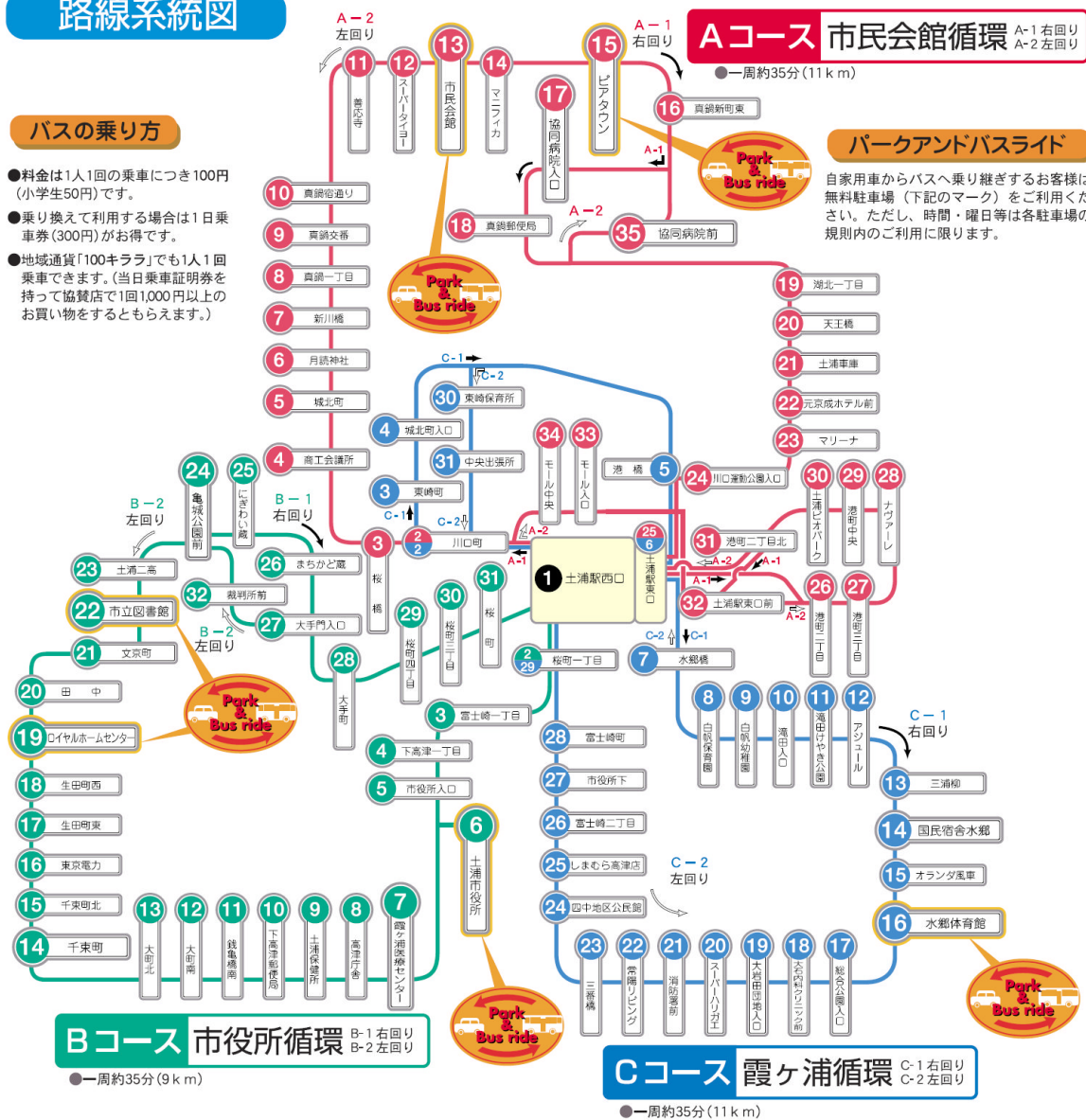


図. キララちゃんバス路線系統図

出典: キララちゃんバス資料

■ 資料編



図. 地域通貨「キララ」(オモテ)

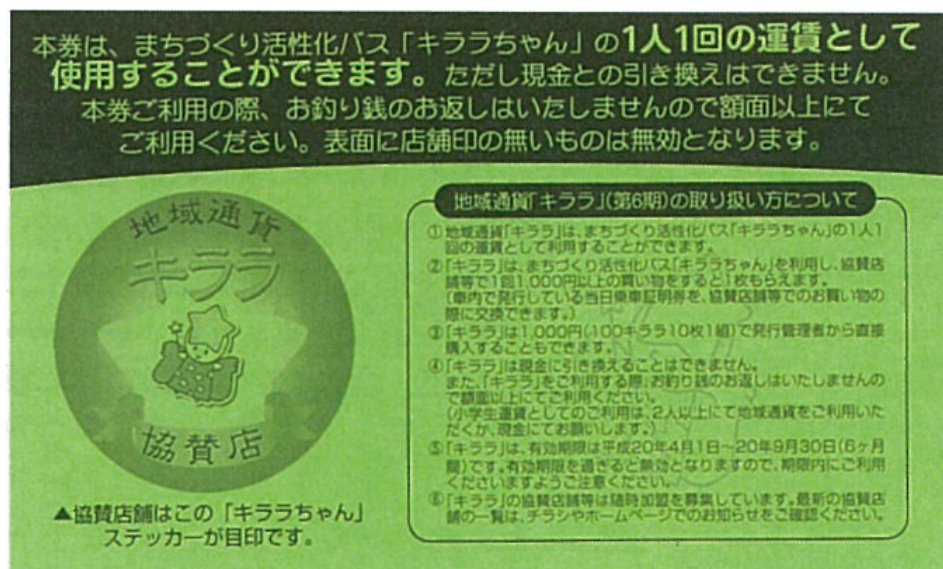


図. 地域通貨「キララ」(ウラ)

出典：土浦市資料